

もっ! ギョッ! と! つばめっ子ニュース



チーム
A

2~3ページ



チーム
B

4~5ページ



とくべつしゅざい
特別取材

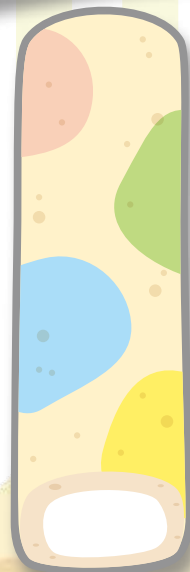


6~7ページ

つばめっ子
燕市プロモーション・コーディネーター
ななほしあみ しごと
高橋佳美さんのお仕事!



つばめっ子 かがや ひと しゅざい
燕市の輝いている人たちを取材!



P

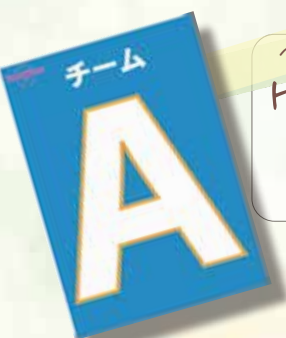
Q

R

き せい
期生

し ない しょうがく ねんせい こ き しゃ つばめっ子 かがや ひと しゅざい さくせい こうほう
市内の小学6年生が「子ども記者」として、燕市の輝いている人たちの取材をし、作成した広報つばめ
「子ども版」です。

ひょうし みやがわかな き せい えい
★表紙デザインはチーム B・宮川叶さんのアイデアです。「10期生」の「1」をスイーツで、「O」を英
語の O で表しています。



Hey! You たち
Sweets ↑↑巡りしてみない??



私たちは、燕市で人気のお菓子を作って輝いている人たちを取材してきました！
その人たちは、どのようなことを考えながらお菓子を作っているのでしょうか。コロナ禍で変わったことは何でしょうか。それでは紹介していきます！

どのくらい分かりますか？ 燕市について

いきなりですが、皆さんに質問です。皆さんは私たちの住む燕市について、どのくらい知っていますか？
ものづくり、有名な人、名産など、人によって知っていることはたくさんあると思います。では、もう一つ質問します。スイーツについてはどのくらい知っていますか？ もしかしたら意外と知らない人が多いかもしれません。そこで私たちは、2021年1月に開催する予定だった「ツバメルシェ スイーツグランプリ」にエントリーしていたお店の中から、4つのお店を取材しました。知っているお店も知らないお店もあると思います。これをきっかけに燕市についてもっと知りたいなと思います。

みんな大好き「イチゴのショートケーキ」 寿津屋菓子店さん

Q スイーツを作るときに心がけていることはありますか？
A 出来が悪いのか良いのかではなく、いつも同じ味で、新鮮なものを作るように心がけています。

Q お客様に言われて嬉しかったことは何ですか？
A 「美味しかった」と言われると嬉しいので、働きがいを感じます。

Q コロナ禍で変わったことはありますか？
A 注文のお菓子が減って売り上げが下がったことと、イベントが中止になったりして、お店以外の場所で売ることが少なくなり、影響を受けています。

Q 最後に、今後の目標を教えてください。
A いろんな人から「美味しかったよ」って言ってもらい、また来てもらえるようなお店にしたいです。



◀ スポンジがふわふわなメロンショートケーキ

40年前から続く味「オムレット」が人気！フジイ菓子店さん！

Q スイーツを作るときに心がけていることはありますか？
A 「食べて安心、買いやすい値段で美味しいもの」ということです。

Q お客様に言われて嬉しかったことは何ですか？
A 「美味しい」と言われたときです。

Q コロナ禍で変わったことはありますか？
A お祭りとか、お祝いをするときにスイーツを食べる機会がなくなったということです。

Q 今後の目標を教えてください。
A 今お店を出しているお菓子をもっと美味しくして、またお客さんに来てもらうことです。



◀ クリームの中にバナナが入っているオムレット

クイズ

3

つばの子ニュース

- 1 フジイ菓子店さんの一番人気のスイーツは何でしょうか？
- 2 坂田屋さんの一番人気のスイーツは何でしょうか？
- 3 菓子工房 RIM さんの看板犬の名前は何でしょうか？
- 4 寿津屋菓子店さんの一番人気のスイーツは何でしょうか？

答えは記事の中にあります。

可愛い「ロールケーキ」が人気の菓子工房 RIM さん

Q スイーツを作るときに心がけていることはありますか？
A 選ぶのに迷うくらい可愛い、RIM でしか買えないようなスイーツを作っています。

Q お客様に言われて嬉しかったことは何ですか？
A 一番は「美味しかった」ですね。ショーケースを見て「どれを選んでいいかわからない」と言われると嬉しいです。リピーターとしてまた来てくれるのも嬉しいです。

Q コロナ禍で変わったことはありますか？
A 全国の旅館やアミューズメントパークでもケーキを作っていたのですが、それが無くなりました。お店での販売と、イベント出店が増えました。

Q 今後の目標を教えてください。
A RIM にしかないケーキを作ることです。



看板犬のラムちゃん

新潟名物「笹団子」が人気の坂田屋本店さん

Q スイーツを作るときに心がけていることはありますか？
A 売れる商品、お客さんが求めている商品をどれだけ作れるかということです。

Q お客様に言われて嬉しかったことは何ですか？
A 「前に買って美味しかったです」とか、「美味しいから買いに来ました!」と言われることです。

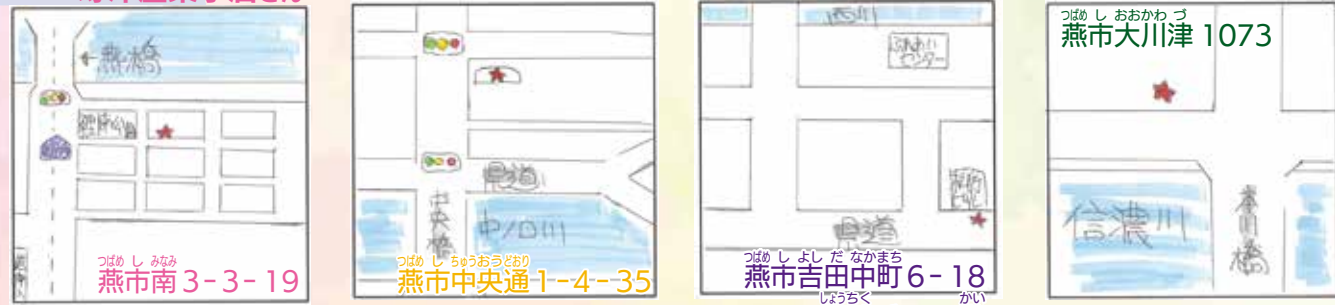
Q コロナ禍で変わったことはありますか？
A 県外から帰省してきてお土産で買う人がいなくなって、宅配便で笹団子を県外に送る人が増えました。

Q 今後の目標を教えてください。
A 大河津分水通水 100 周年でコラボ商品を開発したり、地元で密着して皆さんに坂田屋のお菓子を広めていきたいです。



甘いあんこの入った笹団子ともちもちのみたらし団子▶

地図 寿津屋菓子店さん フジイ菓子店さん 菓子工房 RIM さん 坂田屋本店さん



燕市南 3-3-19
燕市中央通 1-4-35
燕市吉田中町 6-18 松竹ビル 1 階
燕市大川津 1073

まとめ

皆さん、この記事を読んで、スイーツをどれかひとつでも食べたいくなりましたか？「食べたい!」となってもらえたら嬉しいです。楽しく取材できて、普段は聞けないことが聞けて良かったです。どこもスイーツがとても美味しくて、2度3度と食べたいくなりました。ぜひ訪ねてみてください。



チームB エーエルティーの先生に突撃取材 ～ALTの秘密に迫る～

「ALT」ってどんな仕事??

ALTとは、Assistant Language Teacherの略です。学校の授業で、英語の担当の先生のお手伝いをしたり、燕市の「Jack & Betty 教室」に参加し、生徒に英語の文法や発音を教えたり、生徒と話したりする仕事などを行っています。

「Jack & Betty 教室」とは

市内に住んでいる小学校4年生～中学校3年生までを対象に「英語を話し世界に通用する人材」を育てる教室の事です。今回のALTの先生への取材は、この「Jack & Betty 教室」に潜入してお話を聞いてきました。

燕市の「ALT」の先生ってどんな人??

燕市には今、ALTの先生が2人います。男性のクリス先生と女性のバレリー先生がいます。2人の先生について知りたいことをインタビューしてきました!!

①クリス先生へインタビュー!!

- Q1 出身はどこですか?
A1 イギリスのブラックプールです。
Q2 ALTになるまでで大変だったことは何ですか?
A2 日本語の他にもドイツ語とフランス語も勉強していました。それが大変でした。ALTになる前にしていたシェフの仕事も大変でした。
Q3 仕事をしているときのやりがいは何ですか?
A3 子どもたちと一緒に難しい英文を解くときですね。

クリス先生のプチ情報コーナー!!

日本の食べ物で、ラーメン、スシ、カツカレーなどが好きだそうです。

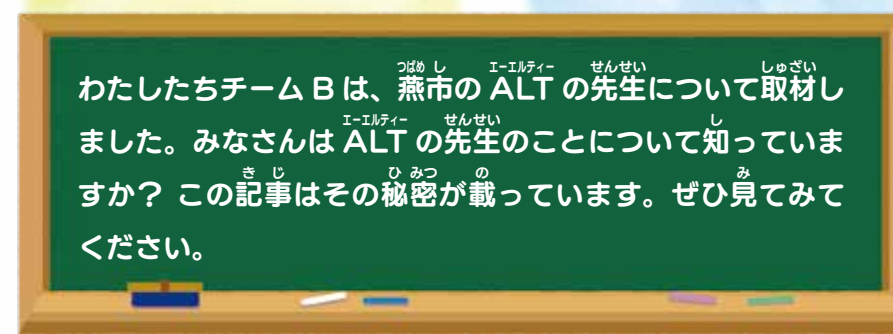


生徒の質問に答えている様子



クリス先生

言葉に興味があり、好きな日本で、子どもたちに英語を教えたいと思ったからALTになりました。



②バレリー先生へインタビュー!!



バレリー先生

中学校の時から日本に興味をもち、大学でALTの仕事を知りました。とてもいい仕事だと思っています。

- Q1 出身はどこですか?
A1 アメリカのウィスコンシン州です。
Q2 子ども(生徒)と英会話をしていると思うことは何ですか?
A2 話していてとても楽しい。生徒はみんな面白いです!
Q3 仕事をしていた大変だと思うことは何ですか?
A3 自分の当たり前だと思っていた文化や考え方が、日本の子どもたちと違うことがあることです。

バレリー先生のプチ情報コーナー!!

- ・日本に来て2年経っている。
- ・ターキーという肉が好きらしい。



まとめ

ALTの先生の取材をしてとても楽しかったです。仕事の他にも好きな食べ物などが聞けて良かったです。
かなっち(宮川 かな)

ALTの先生と、話すことができ貴重な体験だと思いました。この経験を今後に生かしたいです。
さやあ(川崎 さやか)

ALTの仕事について学べて良かったです。貴重な取材の経験を今後に生かしたいです。
たまお(田野口 まお)

ALTの先生たちがどんな思いで仕事をしているかが知れて良かったです。
けい(北村 けいた)

編集後記

取材・編集を終えた8人の子ども記者の皆さんから楽しかったことなど感想を聞きました。

ホームページでも見ることができます▶



編集長
燕南小6年
大久保月瑛

最初は少し緊張したけれど、編集をしていくうちにみんなと仲良くなってよかったです。編集では、文字数、写真、文字の大きさを考えるのが大変でした。みんなで取材したことを、今後の活動に活かしていきたいです。



副編集長
小池小6年
袖山瑠歌

チームのみんなと一緒に楽しく活動することができてよかったです。最初は他校の人と接するのに、緊張していたけれど、だんだん会話をしていくうちに緊張がほどけていきました。この経験を将来に活かしたいです。



小池小6年
今井きらり

表紙のデザインや、記事の中にある地図を作るのが難しかったです。初めての編集や撮影でとまどうこともあったけれども、無事完成してよかったです。他の学校の人たちとで、緊張したけれど、協力できてよかったです。良い経験になりました。



つばめにししょう
燕西小6年
樋口舞音

初めて会う他校の人たちと、声をかけあいながら、会議・取材・編集と協力しながら活動することができました。決まったページに決まった量で書くことの大変さがわかりました。ですが、とても楽しい4カ月間でした。



編集長
小池小6年
田野口菜緒

初めての経験が多くて楽しかったです。編集は少し難しかったけど、とても楽しかったです。他校の人との交流もでき、良い経験になりました。



副編集長
小池小6年
川崎彩花

他校の人と協力しながら、取材や編集作業をすることができてとても楽しくできました。この子ども記者を通じて、記者という仕事はとても大変なことだということが分かりました。



ぶんすいしょう
分水小6年
北村慶太

新型コロナウイルスが流行っているのを、他校の人と交流をするということがなかったけれど、子ども記者に挑戦したおかげで他校の人との交流ができてとても楽しかったです。



ぶんすいしょう
分水小6年
宮川叶

コロナ禍ということもあり、人数がとても少なかったけれど、みんなと協力して活動ができてよかったです。他の学校の子とも仲が深まって、とても楽しめました。